

6/15 総合計画×地域福祉計画
タウンミーティング



15年後の未来へ。ゆめぼりすセンターで「総合計画×地域福祉計画タウンミーティング」を行いました。参加者が8つのテーマについて、15年後の伊賀市やめざすべき将来像について意見を出し合いました。各グループからはときおり笑い声があがり、楽しみながら議論している様子でした。

6/15 IGA CITY
懐メロ祭り 2025



1. 地元ダンスチームによるパフォーマンス
2. 会場の様子
3. 懐メロを会場に響かせるDJ

上野市駅前多目的広場で行われた初開催の「懐メロ祭り」。会場には1980～2010年代のメロディーが流れ、地元ダンスチームのパフォーマンスやイントロドンなどのエンターテインメントでイベントは大盛り上がり。キッチンカーや屋台もあり、参加者はグルメと懐メロを堪能している様子でした。

6/18 町野修斗選手・丹羽大輝選手
表敬訪問



伊賀市出身でサッカー日本代表の町野修斗選手と元サッカー日本代表の丹羽大輝選手が市役所を訪ねてくれました。町野選手はドイツでの1年間の振り返りと来シーズンに向けての意気込みを語ってくれました。丹羽選手は全国各地にサッカーゴールを寄贈する活動に触れ、「子どもたちがスポーツをする機会を増やしたい。」と想いを語ってくれました。

7/5 いきいき未来いが 2025



1. 講演する木村まさ子さん
2. 物品販売の様子
3. ギター・マンドリンの演奏

伊賀市文化会館で行われた「いきいき未来いが2025」。

ロビーなどでは物品の販売や展示などが行われ、訪れた人々が交流を深めていました。

オープニングでは上野高校ギター・マンドリン部の演奏があり、会場に美しい音色を響かせました。

また、講師の木村まさ子さんは「今、ここを生きる」をテーマに、言葉が持つ見えない力の大切さについて講演しました。

今月の表紙



元サッカー日本代表の丹羽大輝選手が代表を務める「NIWA GOAL PROJECT」は、全国各地にサッカーゴールを届ける活動を行っていて、今回、中瀬小学校にミニサッカーゴールを2対寄贈していただきました。

6月18日㈫に上野運動公園競技場でゴール寄贈式が行われた後、丹羽選手と伊賀市出身で日本代表の町野修斗選手によるサッカー教室が開かれました。今月の表紙は、町野選手と参加した小学生たちが交流する様子です。

両選手の表敬訪問の様子は、3ページをご覧ください。

もくじ

- 03 まちかど通信
- 04 特集 戦後80年 平和への思いを紡ぐ
- 06 このまちで、産み育てたい
- 08 三重県知事選挙・三重県議会議員補欠選挙
- 09 悩みを「話す」ことは不安を「離す」第一歩
- 10 伊賀市ふるさと応援寄附金
- 11 ライトアップイベント“お城のまわり”
- 12 地域の仲間と介護予防教室を開催しませんか
- 13 福祉医療費助成制度
- 14 ごみの減量4R運動に取り組みましょう
デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀
- 15 運動の秋にスポーツフェスティバルで体を動かそう
- 16 上野総合市民病院職員募集
- 17 伊賀市まちづくりアンケート（市民意識調査）結果
定額減税補足給付金（不足額給付）
- 18 暮らしの情報
- 22 考えよう！環境のこと
- 24 スポーツの力
- 25 図書館だより
- 26 伊賀城和定住自立圏ニュース
- 27 公共交通を利用しましょう
となりまち い・こ・か
- 28 伊賀の歴史余話
イガプロ
- 29 上野総合市民病院だより
明日に向かって（人権コラム）
- 30 9月の子育てカレンダー
- 31 9月の無料相談
- 32 いがフォト
8月の二次救急実施病院

「平和」を守る上で大切なことは、「祈る」だけではなく、何よりも「学ぶ」とだと考えています。過去の戦争へ至る道のりを学び、さまざまな価値観に触れることによって、こどもや若者が次世代の「平和の担い手」になるように、伊賀市では中学生の広島派遣のほか、市内にある戦争遺跡への看板設置やフィールドワークなど、非核平和事業を一層充実させていきます。

市民みんなでいま一度、戦争と平和を深く学ぶ戦後80年にしましょう。

先日訪問した青山小学校の図書室では「戦争と平和を考えよう」というコーナーが企画されていました。これをきっかけに戦争の悲惨さ、平和の大切さが多くのごもたちの気持ちにしっかりと届くことを願いました。



戦後80年となる2025年。戦後生まれの人が、全人口の90%近くを占めるようになり

伊賀市長 稲森としなお できごとコラム
きょうも歩く！
〜学びを深める戦後80年に〜 Vol.4